

参加費
無料
事前申込

さいがい
大きな災害をのりこえ

いのち つながる

～むかしの人から、いまの私たちへ。そして未来へ～

それでも人は
そこに住み続けた

オプション

10時より
黒井峯遺跡見学
解説あり

きみの足元に
すごいヒミツがかけてる！

日時 令和7年

10/19 日
12:30-15:30

定員 150名程度

申込
フォーム



申込締切
10/17日（金）

●人数把握のため、事前申し込みにご協力ください。
（座席に余裕がある場合は当日参加可能）

会場

渋川市赤城公民館ホール
（群馬県渋川市赤城町敷島568-1）

- 電車：JR上越線 敷島駅より 徒歩10分
- 車：関越自動車道渋川伊香保ICより13分
赤城ICより 6分



《シンポジウム》 考古学と舞台芸術の専門家による意見交換

1500年前の榛名山噴火は、地域の暮らしを大きく揺るがしました。しかし、人々は復興を続け、豊かな文化を育んできました。
このシンポジウムでは、考古学と舞台芸術の専門家と「人がこの地に住み続ける」と「いのちのつながり」について考えます。



右島 和夫
元群馬県立歴史博物館
特別館長



中原 和樹
演出家、劇作家
アクティングコーチ



伊藤 駿
アドブレン・共立・NTT
共同事業体 事業部長 作曲家



熊倉 浩靖
高崎師範大学特任教授
シンポジウムコーディネーター

《自由見学》

群馬県埋蔵文化財調査センター
〈発掘情報館〉
渋川市北橋町下箱田784-2
（赤城公民館より車で17分）

遺跡調査から
謎を解き明かす！
地域の歴史が
つまってる～



《オープニングアクト》
渋川子ども若者未来創造プロジェクト
「渋ミュ名曲コンサート」より



《特別上映》
「よみがえれ古墳人 金井東裏遺跡
～その暮らしと災害の記憶～」
（群馬県立歴史博物館制作）



《展示》
・渋ミュ新作オリジナルミュージカル創作へのパネル
・甲（よろい）を着た古墳人レプリカ など
（渋川市文化財保護課より）

主催 / 渋川子ども若者未来創造プロジェクト

協力 / 群馬県立歴史博物館、群馬県埋蔵文化財調査事業団

後援 / 群馬県、群馬県教育委員会、渋川市、渋川市教育委員会

一般財団法人 サンヨー食品文化スポーツ振興財団「青少年育成アシスト」助成事業

【問い合わせ】 渋ミュ事務局

shibumyu@gmail.com

090-2315-5733

着信がありましたら折り返します

渋ミュHP

Instagram



【シンポジウムへのお誘い】

日本列島は、地震・噴火・台風・豪雪…無数の天災に洗われてきました。しかし、その都度、先人たちは、多くの家族や友を失いながらも、復興に力を尽くし、「脅威」の巖を「豊穡」の泉に変えてきました。

榛名山大噴火の金井遺跡群や黒井峯、浅間山の孀恋・鎌原(かんばら)で、人々は、家族や友を失いながらも、その土地の上に新たな家族と共に地域を再建し続けてきました。

“いのちつなぐ”先人たちの営み。その大地の上に私たちは立っています。気候変動や不穏な世界情勢…切迫した危機に対して、いま改めて、“いのちつなぐ”復興の物語を紐解き、新たな物語を書き込みましょう。

2025年8月

シンポジウムコーディネーター 熊倉 浩靖

シンポジウムプログラム

《イベント内容》

12:30 ①オープニングアクト

渋川子ども若者未来創造プロジェクト
「渋ミュ名曲コンサート」より

②特別上映

「よみがえれ古墳人 金井東裏遺跡
—その暮らしと災害の記憶—」
(群馬県立歴史博物館制作)



復元された
甲を着た古墳人
首飾りの古墳人

③シンポジウム

考古学と舞台芸術の専門家による意見交換

15:30 イベント終了

《展示》

- 10:00 ・渋ミュ新作オリジナルミュージカル創作へのパネル
16:00 ・甲(よろい)を着た古墳人レプリカ など

《オプション(自由参加)》

10:00 黒井峯遺跡見学

右島和夫氏 特別解説

住所：群馬県渋川市北牧3-42

駐車場：子持中学校西側使用可
(渋川市中郷2258-3)

現地集合・解散



赤城公民館へ移動
車で約12分

パネリスト

右島 和夫
みぎしま かずお



中原 和樹
なかはら かずき



博士(文学)。群馬県埋蔵文化財調査事業団調査研究部長、群馬県立歴史博物館館長を歴任。令和2年4月から令和7年3月まで群馬県立歴史博物館特別館長を務める。現在、榎原考古学研究所特別指導研究員。

演出家・劇作家。(株)VOICE OF JAPAN所属。劇団もんもちプロジェクト主宰。日本演出者協会会員。山梨県立県民文化ホールアーティスティックアドバイザー。渋川子ども若者未来創造プロジェクトの全ミュージカル作品の脚本・演出を担当。

伊藤 駿
いとう しゅん



熊倉 浩靖
くまくら ひろやす



YCC県民文化ホール(山梨県立県民文化ホール)の指定管理企業職員として、公共ホール自主事業の企画運営に携わる。また作曲家として、渋川子ども若者未来創造プロジェクトのオリジナルミュージカルの作曲を手掛ける。

高崎商科大学特任教授。高崎哲学堂設立運動に参画、群馬県立女子大学教授・群馬学センター副センター長を歴任。一般社団法人「世界文化遺産地域連携会議」理事、NPOぐんま代表理事などを務める。

「渋ミュ」今後の躍進に向けて

～参加者募集～

今回の学びが
つながる!

新作オリジナルミュージカル
2026年 公演決定!!
渋ミュ体験ワークショップ
説明会開催

11月3日 月・祝
渋川公民館
(渋川市石原6-1)



シンポジウムへの想い(渋川子ども若者未来創造プロジェクト)

渋川子ども若者未来創造プロジェクト(通称:渋ミュ)は、自分たちが「生きる場所」についてのオリジナルミュージカルを4作品、6公演(再演2回含む)開催し、作品に必要な情報を「調査」し、出演者が稽古で「経験」し、本番でその経験を観客と「共有」することで、単なる知識ではなく体験として、大事なメッセージを発信してきました。「いのちつなぐ」というテーマは、現代の私たちにも密接な事柄です。それはその土地にどう住み、生き、次世代へと繋いでいくか、ということです。

歴史という積み重ねを「過去にあったこと」という知識として脇にのけるのではなく、「いま」を支える「出来事」として捉えること、それは渋ミュが信じてきたテーマとも繋がります。

カタチの無いモノを信じ・捉えること。昔も今も未来も、人間という存在の熱を信じること。これらが、渋ミュがこのシンポジウムを開催する理由であり、ミュージカルを上演し続けている理由です。

脚本・演出 中原 和樹